



広報 ざいだん

2019年 (H31) 2月 No.13

公益財団法人 茄子川地域振興財団 岐阜県中津川市茄子川1317-4 TEL0573-68-5655
URL <https://www.nasubigawazaidan.com>

「ごあいさつ」

茄子川地域振興財団では、山地災害を防ぎ安心して暮らせる環境を目指すため、県が実施する治山事業の要望を継続して行っています。

明治30年4月1日に坂本村が誕生し、その7年後の明治37年7月10日から翌日にかけての大雨は坂本村に未曾有の災害をもたらしました。以来115年を経過し、この時の災害被害は風化しつつあります。

地球環境温暖化による異常気象の増加が予想され、昨年は猛暑と各地で極端な豪雨と洪水を経験しました。坂本地区の南側の山々は崩れやすく、土砂流が発生し、不安定な土砂が堆積しています。「県の治山事業は下記の写真のような治山堰堤工事を行い」、山崩れ箇所の荒廃地の傾斜を緩くし、溪流へ浸食を防ぐことで、森林を復活させ、森林のもつ防災機能、水源かん養機能の強化を図るものです。

平成31年2月

公益財団法人 茄子川地域振興財団

理事長 勝 佳朗



滝ヶ洞 治山堰堤工事

坂本小学校4年生による 里山を知ろう 学習会

その2

坂本小学校4年生は、地域のことを知ろうそして森林の大切さを学ぼうと源根の里山で体験学習会を開催しました。

財団では、この学習会を役員等の協力により子ども達の安全確保のため危険箇所の縄張りや立札の設置、輸送等のお手伝い等で支援いたしました。

この体験学習を通じて学び知ったことが、大人になった時、ふる里を思い起こす機会になることと思います。

「なすび川財団の皆さんへ」として送られて来た
体験学習会の感想文の主なものを紹介します。

- 心に残ったことは、わき水です。
- きれいでつめたかった。
- 一年中おなじいようがでていることにおどろいた。
- わき水にさわった。
- 第二てんぼう台のけしきがあひかった。
- てんぼう台で見たけしきびついくいした。
- てんぼう台のけしきうつくしかった。
- 源根のため池が大きかった。

- 源根ため池のことがわかった。
- 昔も今も水が大切なことがわかった。
- 治山のことがわかった。
- 昔の人が使っていた道具が重いことがわかった。
- たくさんの時間を使って、くろうしたことがわかった。
- 人が掘ったと思わなかった。
- 帰りにカモシカが見えた。



昔のはがね打ちの道具



完成間近い源根溜池工事風景

茄子川地域の水不足を救うため1人この地に来てその水源地となるべき源根地帯に溜池を築こうとして亡くなった先達者源右衛門以来、二百数十年にして、ねばり強い努力が実を結び立派に竣工いたしました。

昭和11年から3ヵ年の歳月を費して完成した源根溜池は堤長131㍍、深さ(平均)6㍍、水面の面積3㍍、75,000トンの水量を入れることの出来る大溜池です。これによって、茄子川45㍍の水田はうるおい、坂本村にとって念願の大事業でした。

※モノクロ写真2点は「坂本のふるさと写真集」より引用しました。



源根溜池工事風景

事業の紹介

木の実えとで干支作り

(平成30年12月1日)

里山の木の実を活かした、“お正月用干支飾り(亥)”作り体験教室を開催しました。

指導員：自然体験工房「栗くり工房」 栗谷征二氏



勝理事長あいさつ



栗谷本先生の楽しい教室



完成品

毎年恒例 門松作り

(平成30年12月22日)

竹材等を活用した門松づくりは、年々参加者が増え、親子・夫婦・友達で正月に向けて、門松教室を開催しました。参加者からは、毎年の行事として楽しみにしているとの声が多くありました。



立派な門松



親子で仲良く門松作り



おいしいぜんざい

里山の保全整備事業

自分達の地域は自分達で守るという先人の教えに学び、毎年恒常的に割山組合員により源根里山の維持管理・整備事業を進めております。



整備作業風景



処理作業風景



マレットゴルフ 健康と生きがいを育む

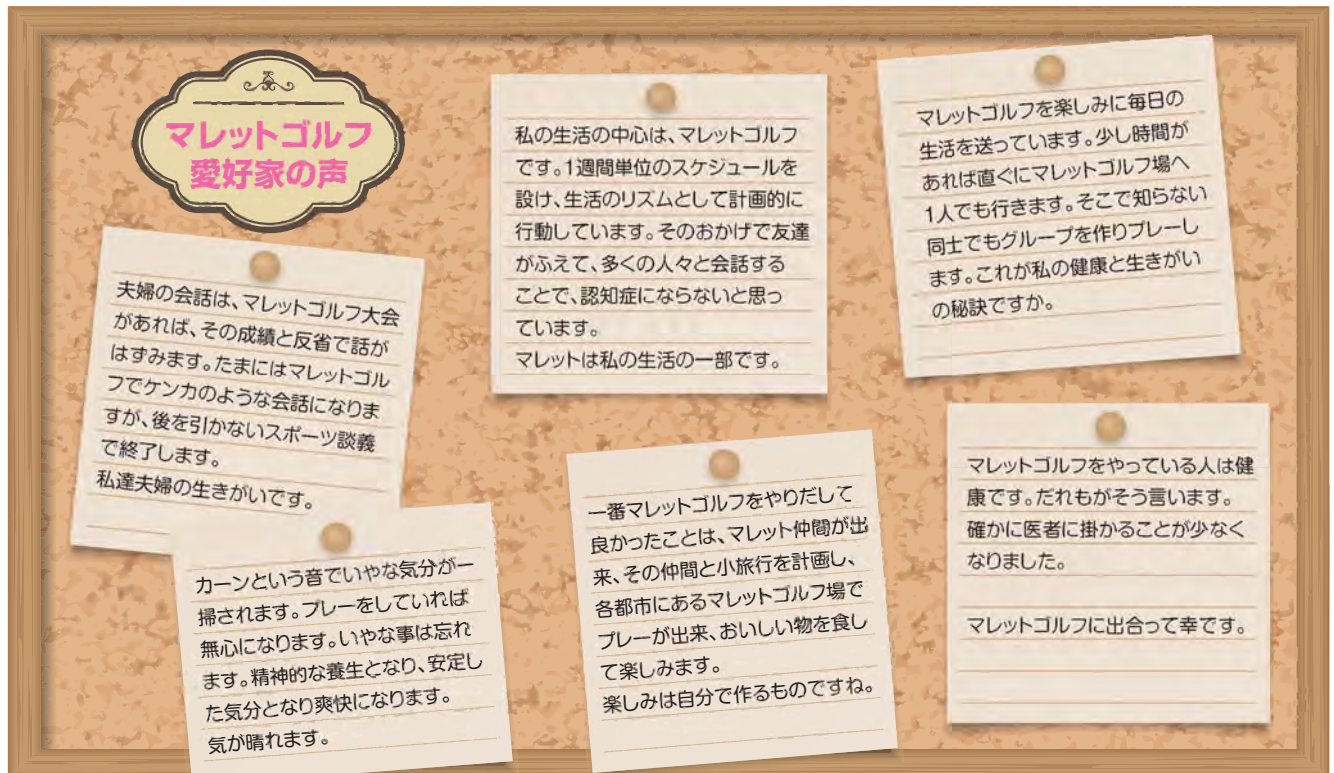


**マレット
ゴルフ**
ってなに？
豆知識

マレットゴルフとは、木づちを意味する「マレット」という名のクラブ（スティック）とボールを使い、決められた打ち出し地点からできるだけ少ない打数でホールにボールを入れることを競うスポーツです。高齢者でも気軽にプレーでき、服装は特に衣装やユニホームがあるわけではありません。道具はスティックとボールです。

1977年に福井市の職員により考案されたようです。広々とした自然の中で、経費をかけずにゴルフのように爽快な気分が味わえることから、年々その愛好者は増えております。

茄子川財団の「なすび川マレットゴルフ場」は、36ホールが自然林の中に配置されてます。夏涼しく、冬暖かく、年中楽しくプレー出来ます。そのため、財団のホームページを見た他市町村の愛好者が年々多く訪れ、交流と活気を得ております。



お知らせ 財団のホームページ <https://www.nasubigawazaidan.com>
Google やYahooで検索してください。 茄子川地域振興財団

**里山の
植物**
シリーズ
No.9



里山「源根の森」にある、植物をご紹介します。

ミツバツツジ (三葉躑躅) (ツツジ科ツツジ属)

ミツバツツジは、関東から中部に分布する落葉低木です。ツツジやシャクナゲの仲間、枝先に3枚のひし形の葉をつける落葉種です。

紫色の花を咲かせ、開花後あるいは同時に葉が出るのが特徴です。ミツバツツジ類は、さし木やつぎ木で増やすことが難しく、園芸代がほとんど進んでいないグループですが、その野趣に富んだ樹姿と花は愛されております。



『里山の植物』は毎回シリーズでご紹介します。